

子供に合わせる教育に転換へ

藤岡謙一 教育長 インタビュー

私は7月、藤岡謙一・西宮市教育委員会教育長にインタビューをしました。3月まで文部科学省初等中等教育局幼児教育課長だった藤岡教育長は「子供1人1人に寄り添う教育を充実させたい」との意向を表明。全国学力・学習状況調査の結果などのデータやICTを総合的に活用し、児童・生徒への理解を深める取り組みを進める方針を示しました。Ⅱ2面に関連記事

この中で、藤岡教育長は「子供が学校や教師に合わせる従来型の教育から、学校や教師が子供に合わせる教育に180度の転換をする必要がある」と強調。そのため、児童・生徒1人1人を多面的に理解することで誰一人取り残さず、どの子もしっかり学び、成長できる環境を整えることが



■一般質問をするかんの=6月24日(記事は4面)

西宮市議会議員

かんの雅一

まさかず



■かんのインタビューに答える藤岡謙一 教育長Ⅱ西宮市議会応接室

児童・生徒を多面的に理解 データやICTの活用で 教育委員会が環境整備

藤岡教育長は「先生方が子供1人1人について必要なデータをわかりやすく一覧できる環境を教育委員会として整えていきたい」と述べました。

藤岡教育長はこれらのデータを組み合わせ、ICTを活用することによって「先生方の力量に頼らなくても子供たちへの理解が深まれば、授業や個別指導に大きな効果がある」と強調しました。

そのうえで、「学校では子供たちのデータがばらばらに保管され、有効活用されていないケースが多い」と指摘しました。

藤岡教育長は「全国学力・学習状況調査では『学校が好きか』や『決められた時間に寝ているか』などのアンケートがあり、子供たちの素直な思いや生活状況が分かる。家族構成も重要なデータであり、妹を理解することで兄についての理解が深まることもある」と強調しました。

西宮市政報告

かんの新聞

第37号

年4回発行

ジャーナリストの視点で調べる・伝える



元産経新聞記者 保守系無所属

私は6月24日、市議会6月定例会で一般質問をしました。テーマは①財政構造改善について②コンサルティング業務について③名神湾岸連絡線について④の3項目。石井登志郎市長ら市幹部が答弁しました。

財政構造改善は令和5年9月定例会で認定された4年度決算で深刻な財政悪化が表面化したことを受けた取り組みです。財政基金の取り崩しに依存しない財政体質の確立に向け、単年度で40億円以上の収支改善を目指しています。

唐突な発言は避けよ

石井市長は5年10月の財政構造改善基本方針の発表時に職員と打ち合わせをせず、200人程度の職員削減と年間20億円以上の人件費抑制を目指すと言いました。

私は「財政構造改善を目指すうえで、人件費抑制は重要な課題であり、唐突な発言で関係者の不信感を買えば、できるものもできなくなる」と指摘しました。

石井市長は「私の発言は庁内で機関決定したものでなく、私の思いを伝えたものであった。職員からさまざまな意見があり、唐突感もあった

6月定例会で一般質問

財政構造改善で石井市長の発言を追及



■一般質問をするかんの=6月24日

たと聞いているが、そうした声をしっかり受け止めていかなければならないと考えている」と答弁しました。

私は「市長の発言は全て、市の公式見解になることを強く認識していただきたい」と要望しました。

コンサル活用では職員に十分な準備期間を

コンサルティング業務については、市が5年度、コンサルティング会社を使ったコスト削減を実施。街路樹の除草や施設清掃の回数削減などの単純な見直しに対して効果額の50%の約1億円などをコンサルに支払うことになり、「コンサルの知見が生かされていない」と市役所の内外から厳しい批判を受けています。

私は「なぜ職員にコンサル活用のための十分な準備期間を与えなかったのか」と質問しました。

石井市長は「今回の成果については、批判を含めさまざまな意見があることは承知している。令和4年度末に財政が厳しい状況にあることが見えてきた中で少しでも早く取り組みが必要があると判断した」と答弁しました。

お待ちしています!!

西宮市政についての疑問や意見をぜひお聞かせください。かんの雅一が問題を丹念に取材しうえ、わかりやすく説明します。

地元の集まりや趣味の会合などで市政の現状について聴きたい場合もご連絡ください。かんのが出向いて市政報告をします。



定期送付のご案内

西宮市政報告「かんの新聞」は年間4回、発行し、南甲子園地区(市立南甲子園小学校の校区など)と周辺地域を中心に各戸配布し、西宮市内に配達する産経新聞朝刊に折り込みとして入れます。それ以外の方、ビラ配布禁止の集合住宅にお住まいの方、確実に入手したい方には定期的に送付します。下記●印の必要事項を記載いただき、お申し込みください。市政へのご意見、ご要望や「かんの新聞」のご感想もお書きいただければ、うれしいです。「かんの新聞」のバックナンバーをご希望の方もご連絡ください。

●「定期送付希望」●郵便番号●ご住所●お名前●ご連絡先電話番号●メールアドレス

はがき宛先 〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101 メール・FAXでのお申し込みは 本紙最下段に記載の宛先まで

言葉の解説

西宮市国民保護計画とは何?

国民保護計画は都道府県や市町村などが国民保護法に基づいて、武力攻撃事態等から国民を保護するための措置などを定めた計画。本市は平成19年3月に西宮市国民保護計画を作成し、今年4月に変更しました。本計画には、弾道ミサイル攻撃等の武力攻撃事態から市民の生命、身体及び財産を保護し、市民生活や市民経済への影響が最小となるよう、住民の避難、避難住民等の救援、武力攻撃災害への対処などの保護措置の実施に関することを記載しています。



本名: 菅野 雅一(かんの・まさかず)

昭和33年(1958年)、神戸市生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。昭和60年に産経新聞社に入社。平成27年1月に退社し、同年4月の市選に初当選。令和5年4月の市選で3選。保守系で政党無所属。「会派・ぜんしん」メンバー。南甲子園自治会会長。社会福祉法人真砂ちどり保育園理事長。NPO法人海浜の自然環境を守る会副理事長。防災士。保育士。

次号は令和6年11月の発行予定です

かんの雅一 事務所

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101

TEL:090-1895-1488 FAX:0798-40-9530

《MAIL》info@kannomasakazu.com

●詳しい政策はホームページへ www.kannomasakazu.com

かんの雅一

検索

藤岡謙一教育長インタビュー 主な一問一答

幼稚園・保育所と小学校で学習内容の連携を
子供の安全策は教育委員会主導で



■藤岡謙一教育長(左)とのかんのかんの編集長(右)＝西宮市議会応接室

西宮は文化的で落ち着いた街

―西宮市の印象は。

「文教住宅都市宣言の通り、総じて文化的で落ち着いた住環境の街だと思ふ。先生方も職員の皆さんも真面目で熱心な方が多い」

―任期が重松司郎・前教育長の残任期間の2年間と短いですが。

「確かに比較的短く、ゆっくりしてはられないという感覚がある。職務に対するPDCAサイクル(※1)を回すにあたって、PDCAの全部をやることは正直言つて無理だ。PLAN(計画)を立てて、DO(実行)に取りかかれるぐらいのことを考えたい」

―教育委員会と各学校の役割分担は。

「制度的に学校長に大きな裁量が与えられており、教育内容は基本的

(※1)PDCAサイクル：PLAN(計画)・DO(実行)・CHECK(評価)・ACTION(改善)のプロセスを回し、マネジメントの品質を高める手法。(※2)インクルーシブ教育：障害の有無などの違いを超えて、全ての子供が同じ環境で一緒に学ぶ教育。

切な学びの時間を浪費させることになりかねない。一緒にできる活動はできる限り一緒にやるという臨機応変な対応が必要だ」

不登校の根本原因を究明へ

―不登校への対応は。

「各学校は急増する不登校の児童・生徒への対応に追われ、手厚い支援ができない状況になっており、深刻だ。教育委員会として不登校が増えている根本原因の究明にも取り組む必要がある。学校の問題や家庭の問題、児童・生徒の心の問題の分析などを進める」

―幼児教育と小学校教育との接続をどのように充実させますか。

「西宮市においては幼稚園や保育所と小学校との交流活動が長く続けられており、小学校の新入学児が新しい環境になじめないというケースは減っていると思うが、低学年の不登校は増えている。学習内容の連携も重要であり、小学校で学ぶ内容の具体例を幼稚園や保育所で経験できれば、素晴らしい。例えば、小学校で太陽の高さが季節によって違つ

藤岡謙一氏 略歴

昭和49年3月、神奈川県生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科修了。平成11年、文部省(現在の文部科学省)に入省。横浜市立旭中学校校長、在中国大使館参事官、スポーツ庁政策課学校体育室長、文科省初等中等教育局幼児教育課長などを経て今年4月から西宮市教育委員会教育長。

●一問一答の詳細はかんの雅一のHPの活動報告(ブログ)に掲載します。

ことを学ぶが、幼稚園や保育所で影踏み遊びをしていれば、実感をもつて受け止められる」

地域で多世代・多種目の活動を

―部活動の地域移行についての考えは。

「全国的には少子化によってサッカーや野球、吹奏楽などの集団的な活動ができない環境に置かれた子供たちが増えている。将来を展望すると、学校単位の部活動の存続は難しい。多世代にわたつて多種目のスポーツ・文化活動ができる環境を地域で整えていく」

―教員の働き方改革をどのように進めますか。

「先生方が疲れ果て、やる気を失えば、良い教育はできない。教育委員会が主導して先生方が健康的で生き生きと子供への教育を行える環境を整えたい。例えば、働く環境についてのルールを全市統一でつくる方法もある。各学校によって決めれば、ばらつきが出て保護者などから学校に不満が出る可能性があるからだ」

新川・東川統合排水機場 完成が大幅延期へ 7年遅れの令和15年度に



■新川・東川統合排水機場の完成予想図。左は新しい新川水門。北東側から望む(兵庫県提供)

資材価格の高騰など響く 高潮対策に遅れ

兵庫県は今津港の新しい新川水門の隣に整備する新川・東川統合排水機場の完成時期を当初予定の令和8年度から7年間延期し、15年度とする方針を明らかにしました。資材価格の高騰による整備費の増大などが原因で、西宮市臨海部の高潮対策が大幅に遅れることになりました。

大幅延期の理由について、件費や資材価格の高騰、地下水を保全するための環境対策費用の増大をあげています。整備費は当初、約120億円としていましたが、それを大幅に上回る見込み。統合排水機場の整備は平成30年の台風21号の被害を受けて策定した高潮対策10箇年計画の一環。新川と東川の2つの老朽化した排水機場の機能を1つに統合して、排水能力を現在の毎秒計60立方メートルから毎秒111立方メートルに増強します。高さ約20メートル、延べ約4200平方メートルの建屋に4台のポンプを設置する計画。

県は新しい新川水門の整備をはじめ、南海トラフ地震に伴う津波対策である「津波防災インフラ整備計画」を令和5年度末で完了させました。これによって、南海トラフ地震発生時に新しい新川水門を閉鎖することができるとしています。

しかし、高潮は大雨を伴う台風襲来時に発生する可能性が高く、その際には大量の雨水が新川と東川に流れ込みます。これらの河川水を海に排出する統合排水機場が完成していない段階では、新しい新川水門を閉鎖できません。このため、令和15年度の統合排水機場の完成までは平成30年の台風21号の被害などの再発を想定しておく必要があります。

私は統合排水機場の完成の大幅延期に強い危機感をもっています。市民の生命と財産を守るため、早期完成を県や市など各方面に働きかけます。

民間活力の導入で再整備 鳴尾浜臨海公園南地区

旧リゾ鳴尾浜の建物は解体へ 令和10年度に供用開始

市は旧リゾ鳴尾浜を含む鳴尾浜臨海公園南地区について民間活力を導入した公募設置管理制度(パークPFI)などの手法によって再整備する方針を明らかにしました。これによって再整備のための財政負担の軽減を図ります。ただ、旧リゾ鳴尾浜の建物は市が令和8年度以降に公費で解体します。

パークPFIは都市公園において

飲食店や売店などの施設を設置・管理する民間事業者を公募によって選定。事業者がこれらの施設から得られる収益で公園の整備や維持を行う手法。

市は旧リゾ鳴尾浜の跡地やフラワーガーデン、芝生広場、海づり広場、西側駐車場について一体的に再整備する方針。阪神高速5号湾岸線や湾岸側道によるアクセスの良さを

はじめ、海に面する開放性やフラワーガーデン、芝生広場に代表される緑豊かな空間を活かせば、魅力的な都市公園への再生が可能と判断しました。

再整備の基本コンセプトは「海とみどりの調和 海辺で楽しむレクリエーション」。市はパークPFIなどの手法を活用して、体験レジャーや健康増進施設を中心とした整備を目指すとしています。

令和6年度から7年度にかけてサウンディング調査や事業者の公

募・選定を実施。8年度から9年度にかけて設計と工事を行い、10年度から供用を始める計画。

鳴尾浜臨海公園南地区のうち東側駐車場と、西宮市のオリジナル植物などの花苗を大量に生産している花工房の用地については、公園再整備の区域に含める必要性は低いと判断。産業用地として土地利用の転換を図ることにし、令和10年度以降で売却が貸付を行うことにしました。花工房は西田町の西田公園に移転します。